

神奈川特命子ども地域アクター養成アクション  
第3回 かながわ子どもの地域社会参画推進会議

日時：平成24年3月28日 18:00～20:00

場所：関内 さくらワークス

出席者

横浜市立大学学術院国際総合科学群 准教授	三輪 律江
NPO 法人ミニシティ・プラス 副理事長	岩室 晶子
NPO 法人ミニシティ・プラス 理事	中 聡美
NPO 法人ミニシティ・プラス 会員	杉山 昇太
NPO 法人ミニシティ・プラス 会員	熊井 一之
神奈川県 県民局青少年部青少年課 企画グループリーダー	丸山 尚子
神奈川県 県民局青少年部青少年課	鈴木 かおり
リスト株式会社 CS 企画部 次長	松本 紀明
NPO 法人 教育支援協会 事務運営部	池田 正則
NPO 法人 教育支援協会 事務運営部	田中 靖子

(オブザーバー参加 横浜市立大学 西田、椿、松田)

〈報告・承認事項〉

1. 事業説明会 in 相模原の報告

資料 事業説明会 in 相模原 報告

三輪によって報告がなされた。

- ・地縁がない割には、声かけがされてまちづくり現場の参加者が結構集まった。
- ・相模原職員1人というのは、子どものまち関係の人である。
- ・法政大学の大学生が資料だけを受け取りにきた。

〈協議事項〉

1. アクター選考について

資料 特命子ども地域アクター応募者一覧 (個人情報なので会議終了後に回収した。)

岩室によって地域アクター応募者の説明がなされた。その後、会議参加者によって応募者ひとり一人の承認の是非について判断した。

- ・現在、20人ほどの応募がある。
  - ・地域アクターが何か分からないがやってみたい、というのも志望理由としてはOKとしたので、そう書いている子どもが多い。
- 応募動機とやってみたいことが書いてある **16人**については承認する。2つが未記入の子ども4人については、大至急記入して送ってもらうようお願いする。(4人については、岩室の知っている適応能力としては仮承認とする。)

・地域アクターの情報をどこから得たか(情報源)については、応募者一覧表の備考欄に記入する形とする。

- ・地域アクターに応募している子どもにはヒアリングをしておくこと(岩室担当)

2. アクター追加募集について

資料 特命子ども地域アクター募集チラシ 追加募集 Ver.

- ・地域アクターの応募締め切りは5月7日まで延長する。
- ・既に応募した子には「友だちも誘って」と呼びかける。
- ・まちづくりの現場の方で既に参加している子どもにアクターにも参加してもらうのはどうか。
- ・新学期なので予定が立てにくいのか。
- ・追加募集のチラシについては、横浜市大のプレオープンキャンパスでエクステンション講座のチラシと一緒に配布済み。

- 質疑 -

(岩室) 追加募集を受けて、4月15日までに応募してきた子どもは15日の会合に参加可能だが、どう対応するか？

(三輪) 追加募集の子どもについては、基本的には5月13日のこども会議から参加してもらうこととする。後からの応募を公平にするため、第1回の会合に出られない子どもがいるのは仕方がない。

2回目から参加する子どもについては、1回目の会合の内容を何らかの形で伝えるようにする。1回目から参加する子どもについては、追加募集で他の子どもが加わることを伝える。

### 3. まちづくり現場募集について

- ・相模原の説明会后、説明会に参加した1社から申し込みがあった。
- ・まだまだ募集している状況である。
- ・協議体のメンバーであっても応募用紙は提出すること。
- ・〆切は5月10日とする。

### 〈その他〉

1. SalesforceCRMの使い方の説明を事務局・熊井より行った。

- ・Chatterとは…

人やファイルをフォローできる。twitterと違うのはファイルもフォローできること。皆と共有するためには、グループに投稿する。

- ・推進会議のメンバーにやっていただきたいこと
  - ・人をフォローする。
  - ・必要なグループ(「アクター推進会議」のグループ)に参加する。
  - ・参加グループのメール送信頻度を設定。－「各投稿のメール」の推奨。
- ・個人情報の取り扱いについて  
アクター応募者の個人情報について取り扱いには十分注意することとする。

2. 次年度のスケジュール確認、次回会合日の確認

- ・次回の会合
- ・子ども：

4月15日(日) 13:30～15:30 子どもアクターの顔合わせ、その他。  
@神奈川県青少年センター

- ・大人、子ども：

5月13日(日) 13:30～15:30 こどもアクターと大人の合同会議  
15:30～16:30 まちづくり現場の決定等  
@神奈川県青少年センター3階

- ・次年度のスケジュールは、改訂し、メールで送信する。

(その他)

- 質疑 -

(松本) リストが定期開催している東戸塚での清掃活動は、地域アクターの事業にふさわしい内容であるか？

(三輪) それに子どもが参加して終わり、というのではあまりふさわしくない。子どもが企画の段階からかかわれるようなものが望ましい。

- 意見 -

・説明会に来てくれたまちづくりの現場の方々には、応募締め切りの再通知や企画内容についての相談に乗るなどのフォローが必要ではないか。

・高校生は部活やバイトで忙しいから、なかなか土日の参加が難しい。興味は湧くようだが、実際にやってみる段階まではたどりつかないようだ。

→地域アクターが部活と同じレベルの選択誌になるかどうか。都筑区の子ども達がこの事業に興味を示すのは、ミニヨコの活動などを通してそういった土壌があるからだろう。

参加のためのきっかけ作りが大切なのではないか。

以上。(文責・横浜市大 西田)